

労働関係講座 海外赴任前対策セミナー 実施日：平成26年4月9日（水）

講師：（第1部）一般社団法人 日本在外企業協会 海外安全アドバイザー 加藤 稔 氏

（第2部）東京医科大学病院 渡航者医療センター／感染制御部助教 福島 慎二 氏



第1部「海外の生活と安全対策」

最近のリスクの傾向は、(1)政治の不安定化・抗議行動・暴動の発生、(2)テロ形態の多様化、(3)大型災害の発生等がある。犯罪者にとって日本人は狙いやすい。リスクの種類は、①殺人・強盗・窃盗・置き引き・ひったくり・詐欺等、②地震・火災・交通事故等、③感染症・疫病・医療レベルの違い、④宗教・風習・法令、⑤政情不安、⑥極右・極左・無政府主義横行、⑦銃器の出回り等がある。安全対策の基本は、1. 自分と家族の安全は自分たちで守る、2. 予防が最良の危機管理、3. 有事の速やかで適切な対応が重要となる。

第2部「海外の医療と健康管理」

海外渡航者にリスクの高い感染症は、①経口感染症、②蚊媒介性感染症、③動物からの感染症など。赴任前の予防接種で推奨されるワクチンは、先進国に長期滞在時は破傷風等、途上国に短期滞Inの場合はA型肝炎・黄熱等、長期滞Inの場合はA型肝炎・B型肝炎・日本脳炎・黄熱・破傷風・狂犬病等、それぞれ渡航地域に応じて接種する。持病がある場合は、主治医に英文の診断書(紹介状)を書いてもらう。継続医療だけでなく、他の疾患で受診する時にも必要な情報となる。

